



名鍍会報告

H21. 12

名鍍会活動について報告します。

平成21年10月14日（水）名鍍会10月度例会が鍍金組合にて行われました。今回は日本フィルター株式会社の「凝集剤不要なMF膜分離排水処理装置」と株式会社中央製作所の「めっき装置の水洗槽節水装置」について商品説明していただきました。



平成21年10月16日（金）日本鍍金協会の秋季大会が開かれました。今年は当番幹事が青研会なので12時半新大阪で三会が集合し、造幣局へ訪れました。

この造幣局は明治4年（1871年）に大阪の地に開設され、おもに国民生活に不可欠な貨幣について必要十分な量を安定的かつ確実に製造、供給することだけでなく、また栄誉にふさわしい品格を備えた勲章・褒章等を製造もしています。造幣局内では貨幣、勲章と褒章の製造工程を見学しましたが、貨幣は製造工程のほとんどが自動化されていたのに対して、勲章と褒章は多くの人手が製造工程にかけられ、そして想像以上に職人の技に頼って作られた高価な物である事に一同驚いていました。

造幣局の見学後は、KKRホテルへ移動してJES秋季大会が開かれました。今回の参加者は総勢56名、来賓1名で行われ、JES事業経過報告、各会事業報告と各会現況報告をおこない、最後に大阪府鍍金工業組合理事長の寺内功二様よりご祝辞をいただき、無事終了となりました。





秋季大会の後はホテルの宴会場にて J E S 北田会長のあいさつで懇親会がはじまり、きたる J E S 50周年に向けて参加者の結束を呼びかけながら、会は大いに盛り上がりました。



青研会・十日会・名鍍会 造幣局前にて